

若者が安心して暮らせる平戸市へ

税金のつかい方を変え、暮らし・福祉の応援を

2000万円(市予算230億円の0.1%)で可能

中学校卒業まで医療費助成の拡充

医療長崎ネットのアンケートに12000人が回答。小学校入学前の子どもが対象の医療費助成を、中学校卒業まで拡充することを、80%以上が求めています。

県内では松浦市、南島原市が中学校卒業まで実施しています。

平戸市でも予算の0.1%、年間2000万円が可能です。

福祉保健部長は「財政的に非常に将来を危惧されている平戸市。本県では圧倒的に取り組んでいない状況で、他市に先駆けて取り組む状況になり」と答えました。

情報センター(12億8000万円)や市道亀岡循環線(8億7000万円)などに莫大な税金をつぎ込む一方、子どもの医療費助成には2000

万円を出せないのでしょうか。

人口減少が著しい平戸

市長も、福祉保健部長も答弁せず

市長・福祉保健部長は助成を「拡充しない理由」を、①国の制度として整備すべき②自治体間に格差があつてはならない、としてきました。

山崎議員は「平戸市長崎県の制度をうけて助成している。長崎県は国

市こそ、若者が安心して暮らせる町をつくるべきではないでしょうか。

では

が整備すべきことを行い、自治体間の格差をひろげたではないか。ど

う、評価するのか」と質問しました。

福祉保健部長が「まとも

に答弁しませんでしたので、市長に答弁を求めましたが、市長は県の評価について答弁せず、「県が助成に踏み切ったか。

松浦市では家賃への助成も

松浦市には3年以上、市外に居住した人が転入し、1年以上、民間住宅に居住する場合、最初に10万円の「賃貸住宅入居補助金制度」や市営定住促進住宅の「家賃減額制度」などがあります。

違法の生活保護行政、平戸市も是正

小池参院議員(共産)の追求うけ、厚労省が誤りを認める

参議院厚労委で小池議員(共産)が生活保護行政について質問。全国各地の自治体が、本来、生活保護を受けられる人が「自分は受けられない」と誤解する文書を、申請に来た人などに渡していた問題です。厚労省は誤りを認めて、自治体には是正を求めました。

山崎議員は「平戸市は是正したのか」文書を見て、生活保護をあきらめた人がいるかもしれない

「自分は受けられない」と誤解する文書を、申請に来た人などに渡していた問題です。厚労省は誤りを認めて、自治体には是正を求めました。

山崎議員は「平戸市は是正したのか」文書を見て、生活保護をあきらめた人がいるかもしれない

